

## 社会福祉法人友愛会（山形市）

### 《法人・事業所概要》

当法人は開業医だった初代理事長が、往診のため患者さんの自宅を訪問していた際に、自宅に閉じこもりがちだった障がいを持った方々に「もっと社会に出て、生き生きと暮らしてもらいたい」という思いから、1991年に立ち上げた法人です。法人設立の翌年に「身体障害者療護施設すげさわの丘（現在の障がい者支援施設すげさわの丘）」を開設、その後も障がい者福祉事業として、入所施設、就労継続支援事業所、放課後等デイサービス事業所、グループホームを開設、高齢者福祉事業として、デイサービス事業所、居宅介護支援事業所、ショートステイ事業所、ユニット型特別養護老人ホーム、認知症グループホームを開設し、また山形市から老人福祉センターの運営を委託、山形市、南陽市、上山市の3市で障がい者施設、高齢者施設併せて11施設26事業を運営しております。

### ◎障がい者支援事業所

- ・「障がい者支援施設すげさわの丘」  
山形市すげさわの丘727番地47
- ・「障がい者支援施設南陽の里」  
南陽市宮内1204番地の3
- ・「多機能事業所ふぁーすと・すてっぷ」  
上山市十日町9番8号
- ・「障がい者グループホームしゃるどね」  
山形市富の中三丁目4番17-13号
- ・「多機能事業所ゆうあいくらぶ」  
南陽市宮内1204番地の3

### ◎高齢者支援事業所

- ・「特別養護老人ホームみはらしの丘」  
山形市みはらしの丘四丁目15番地3
- ・「天然温泉老人デイサービスセンターくろさわ」  
山形市大字黒沢440番地

- ・「居宅介護支援事業所くろさわ」  
山形市大字黒沢547番地67  
(天然温泉湯の郷くろさわ内)
- ・「天然温泉湯の郷くろさわ」  
山形市大字黒沢547番地67
- ・「グループホームおおさと」  
山形市大字中野469番地6
- ・「老人福祉センター黒沢いこい荘  
(山形市指定管理業務)」  
山形市大字黒沢字中川原541

### 《地域における公益的な取り組み》

#### ①こども食堂の開催

この事業を始めるきっかけとして、近年の子どもたちに関する問題の一つとして、自宅でも学校においても自分が安心して過ごせる居場所がない、と感じている子どもが増えているということに耳にし、社会福祉法人として何かできることはないだろうか検討し始めたのがきっかけです。

地域の子どもたちが気軽に立ち寄ることができる場所であり、地域の様々な年代の方々とも交流することができる場所、交流を通じて人と関わる力や自己肯定感を育むことができる場所、その中で課題を抱える子どもがいれば早期発見、支援に繋げることができるような場所、そういった場所を目指し、その最初の一步としてこども食堂の開催を計画しました。

まず、こども食堂を開催する場所として、上山市にある当法人の事業所「ふぁーすと・すてっぷ」に隣接している使用していない家屋を利用することを検討し、この場所でこども食堂を実施することができるのか関係機関に確認するところからスタートしました。保健所や市、県の建築関係担当課などに相談し、利用目的、参加人数の上限、開催頻度、対象者の範囲、費用徴収の有無などによって、営業許可の必要性、建物の用途変更の必

要性など様々なハードルがありましたが、相談を重ねた結果、現状のままでもこども食堂を開催することができるとの判断をいただきました。

その後、山形県社会福祉協議会や上山市子ども子育て課の担当者の方に何度も相談させていただき、アドバイスを頂きながら開催に向けて準備を進め、上山小学校様、上山市下十日町区長様、上山市社会福祉協議会様より、こども食堂開催の周知で多大なご協力をいただきました。また、食材の提供につきましては「おーばん上山店」様のご厚意により、肉や野菜、果物、その他食材や調味料まで、売り場に並んでいるこちらが必要な食材を無償にてご協賛いただき、さらに初回だけでなく、その後も毎回提供していただいております。関係者の皆様のご協力のおかげで、令和4年12月14日に第1回目の「こども食堂“ゆうあいキッチン”」を開催することができました。参加対象としまして、基本的には小学生とその保護者を対象とし、会場スペースの関係で定員は20名、料金については子どももその保護者も無料にて提供しております。初回は6名の方が参加して下さり、食事

だけでなく、夕食の時間まではカードゲームで遊び、皆さん楽しく過ごしていただけたようでした。今後については月1回の開催を継続し、その中で参加者や地域のニーズに合わせて頻度を増やし、内容も検討していきたいと考えております。子ども食堂開催までにご協力、ご支援いただきました関係者の皆様には本当に感謝申し上げます。

今後の子ども居場所事業の展望としまして、①子どもたちが宿題などをすることができる学習スペースの提供、②あそび・体験・コミュニケーション等を目的とした交流スペースの設置、③夕食を提供する子ども食堂の開催、以上3つの事業をメインとし、子どもたちの“第三の居場所”として、いつでも誰でも気軽に立ち寄れる場所を確立していきたいと思っております。また、将来的には子どもだけでなく、地域の高齢者や障がい者、外国籍の方など誰でも集まれるサロンのような居場所であり、さらには福祉に関連する幅広い悩みに対する相談窓口のような場所として地域の方々が気軽に集まれるような場所を目指していきたいと考えております。



管理栄養士が考えたメニューを料理自慢の職員が調理しています！



季節のイベントや旬の食材を使って楽しい食事の時間を過ごしてもらいたいです。



食事までの時間は宿題をしたり、色々な遊びなど、自由に過ごしてもらえるようにしています。今後はイベントなども計画しています。

KIDS Caffe  
みんなでワイワイ！おながいっぱい。

子ども無料

# 子ども食堂

## ゆうあいキッチン

子どもおとなもみんなでワイワイが楽しい  
子どもがひとりでも安心してやることのできる食堂です  
ひとりぼっちのごはんを少しでも減らし、  
あたたかいごはんをおながいっぱい食べることが出来ます  
地域の中で安心できる居場所づくりを目指します

令和5年  
4月20日(木)  
15:00 ~ 18:00

申し込みが必要で、電話かフォームから事前に予約をお願いします！メニューは当日のお楽しみ♪

※毎週に開催があり、お申し込み人数が定員に達していない場合は、翌週の開催が優先となります。ご了承ください。

TEL:023-687-1016

主催の法人は ゆうあいキッチン  
本部：山形市きばらしの丘4-15-3  
会場：上山市十日町9-8  
もも館学館階301号室までついで  
(元：高橋百貨店ビル)

開催の日時等は当法人のホームページに掲載されております。また、上山市内のスーパー、市役所などでもポスターを掲示していただいております。